

## 福井市足羽山で確認されたカラアカハラ *Turdus hortulorum*

出口翔大\*・中村正和・石原裕賀子

Grey-backed Thrush *Turdus hortulorum* observed at Mt. Asuwa, Fukui City, Fukui, Japan

Shota DEGUCHI\*・Masakazu NAKAMURA・Yukako ISHIHARA

(要旨) 2022年4月下旬に福井県福井市足羽山西部の震災慰霊碑付近でカラアカハラ1個体を2日間観察した。本個体は車道に出てきて採餌行動をよく行った。形態的な特徴から本個体は第一回夏羽であると判断された。本報告は福井県内における本種の6例目、足羽山、八幡山、兎越山をあわせた足羽三山では初の記録である。

キーワード：孤立丘陵、第一回夏羽、足羽山、足羽三山初記録

福井市街地に位置する足羽山は標高が約116 m、面積約115 haの孤立丘陵で(梅田ほか, 1989)、西部はコナラ *Quercus serrata*・ソヨゴ *Ilex pedunculosa* 林が東部はモミ *Abies firma*・スダジイ *Castanopsis sieboldii* 林が優占している(中村・吉澤 未発表)。足羽山と近接する八幡山、兎越山をあわせた足羽三山において、鳥類は2020年までに107種が確認されている(出口, 2021)。その後、2021年にハギマシコ *Leucosticte arctoa*、コハクチョウ *Cygnus columbianus*、ニュウナイスズメ *Passer rutilans*、カワセミ *Alcedo atthis*、ブッポウソウ *Eurystomus orientalis* の5種が新たに確認されているもの(表1)、カラアカハラの記録はない。

カラアカハラ *Turdus hortulorum* はスズメ目ヒタキ科ツグミ属に分類される渡り鳥で、シベリア南東部から

韓国で繁殖し、中国南東部などで越冬する(日本鳥学会, 2012)。日本には数少ない旅鳥として北海道、本州、九州で記録がある。その中でも日本海側の島嶼では記録が多い(真木ほか, 2014)。

福井県内では1995年まで本種の記録はなかった(福井県自然環境保全調査研究会, 1998)。しかし、2007年に2羽、2011年に1羽が丹生郡越前町の織田山環境省第一級鳥類観測ステーションにおいて標識放鳥され、2016年および2017年の4月下旬には坂井市三国町安島において観察されており(日本野鳥の会福井県, 2007)、これまでに合計5例の記録がある。

筆者らは、2022年4月に足羽山西部の震災慰霊碑(慈母観音)付近でカラアカハラの第一回夏羽と考えられる個体を観察したので報告する。

表1. 福井市足羽三山において2021年以降に新たに確認された鳥種

Table 1. New recorded bird species from 2021 in Mt. (Asuwa, Hachiman and Osagoe in Fukui City).

確認記録 Record	年 Year	確認年月日 月 Month 日 Day	場所 Locality	個体数 Abundance	観察者 Observer	備考 Note
ハギマシコ	2021	January 11	八幡山	5+	橋本有加里	西側斜面で採餌
コハクチョウ	2021	February 12	足羽山		中村正和・石原裕賀子	平和の塔から飛翔を観察
ニュウナイスズメ	2021	April 24	兎越山	♂1, ♀1	出口翔大ら	当館の探鳥会で観察
カワセミ	2021	May 1	兎越山	2	出口翔大	旧かんぼの宿付近
ブッポウソウ	2021	May 18	兎越山	2	橋本有加里・出口翔大	旧かんぼの宿付近
カラアカハラ	2022	April 13-16	足羽山	1	出口翔大・中村正和・石原裕賀子	本報告

\*福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上町147

\*Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan

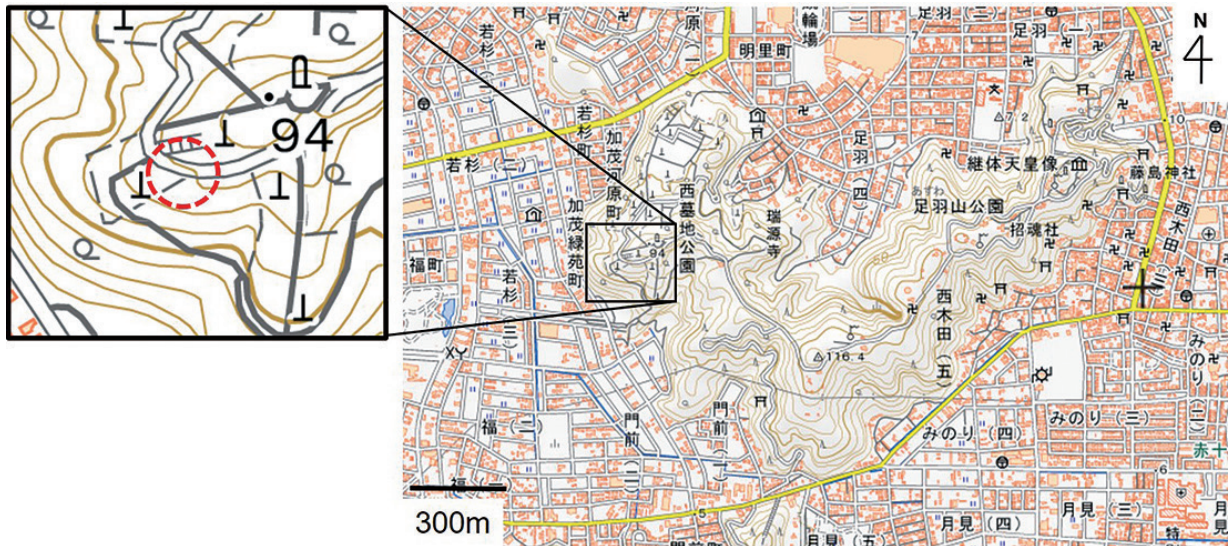


図1. カラアカハラの観察地点（破線丸内）. 国土地理院地形図を加工して作成.

Fig. 1. Dotted line shows that observed point of Grey-backed Thrush. Map was created by manipulating the map provided from Geospatial Information Authority of Japan.



図2. 2022年4月に足羽山西部で観察されたカラアカハラ. 撮影：中村正和（a～c），出口翔大（d）. カラー版は福井市自然史博物館ホームページから閲覧可能.

Fig. 2. Grey-backed Thrush observed on the western part of Mt. Asuwa in April, 2022 (Photographed by M Nakamura and S Deguchi). Color photographs are available in Fukui City Museum of Natural History's HP.

日時・場所

2022年4月13日8時30分頃(初認), 16日8時30分頃および18時30分頃(終認)の3回, いずれも足羽山西部の震災慰霊碑(慈母観音)の南西の車道上(36°03'14.3"N, 136°11'37.7"E付近)で確認された(図1)。周囲はコナラ・ソヨゴ林が優占する環境で(中村・吉澤 未発表), 少なくとも4月13日から16日までの4日間は同地付近に滞在していたものと考えられる。

形態

同地で採餌していたクロツグミ *T. cardis* とほぼ同大, 頭部から上面は褐色の混じる青灰色で, 尾羽は青灰色であった(図2a)。類似種にはクロツグミ雌とアカハラ *T. chrysolaus* が挙げられるが(真木・大西, 2000), いずれの種も上面は青灰色味はない(クロツグミ雌は暗褐色, アカハラはオリーブ褐色)。さらに胸の側面から脇腹は鮮やかな橙色で, 嘴は橙。喉には黒色の太い顎線があり, 胸から腹は白く, 胸には黒色の縦斑が認められた(図2b)。胸の側面から脇腹は鮮やかな橙色で, 嘴は橙色味を帯びる黄色であった(図2a)。これらの特徴から本個体はカラアカハラと判断された(真木ほか, 2014)。加えて外側数枚の大雨覆羽は褐色で先端がバフ色であったことから(図2a), 本個体は第1回夏羽だと考えられた(永井・茂田, 2014)。しかし性は不明であった。

観察された行動

本個体は車道脇の低木から地面を飛び跳ねて車道に出現し, 車道上を跳ねては地面をつつくという採餌行動をしていた(図2c)。採餌行動は主に8~9時台と17~18時台に観察された(図2d)。そのほか, クロツグミ, シロハラ *T. pallidus*, アトリ *Fringilla montifringilla* でも同様の採餌行動が見られた。車道上にはソメイヨシノの花弁が多く散在しており, 本個体を含めこれらの鳥類は, 花弁に付く無脊椎動物を捕食していた可能性が考えられる。

本報告は福井県内におけるカラアカハラの6例目, 福井市足羽三山では初の確認記録であるとともに, 本種の行動を福井県内において初めて記録した。本事例の個体は性不明の第1回夏羽個体であったが, 県内でこれまでに確認されたカラアカハラの性, 年齢に一定の傾向はなかった(表2)。

本事例は春季の記録であった。これまでの県内における記録では, 春季が3例(越前町織田山:4月, 坂井市三国町安島:4月)で, 秋季が2例(越前町織田山:9月)で(表2), 本種は春季にも秋季にも県内を通過すると考えられる。鳥根県松江市美保関の標識調査で1996年から2010年まで毎年のように標識されており(市橋ら, 2018), 繁殖期にも同県三瓶山で定期的に確認されている(星野・市橋, 2020)。石川県でも白山市や金沢市の公園などで1987年から2018年まで春季を中心に毎年確認されている(日本野鳥の会石川, 2011;2018)。これらのことから, 福井県においても一定数が渡来していると考えられ, 今後の本種の確認記録の増加を期待したい。

表2. 福井県内におけるこれまでのカラアカハラの確認記録

Table 2. Confirmation records of Grey-backed Thrush to date in Fukui prefecture

確認記録 Record	年 Year	確認年月日 月 Month 日 Day	性 Sex	年齢 Age	参考文献 Reference
1	2007	September 25	雄 Male	成鳥 Adult	標識放鳥・回収データ(山階保全第4-91号)
2	2007	September 29	雌 Female	幼鳥 Juvenile	標識放鳥・回収データ(山階保全第4-91号)
3	2011	April 30	雌 Female	成鳥 Adult	標識放鳥・回収データ(山階保全第4-91号)
4	2016	April 22	不明 Unknown	不明 Unknown	
5	2017	April 27	不明 Unknown	不明 Unknown	日本野鳥の会福井県(2017)
6	2022	April 13-16	不明 Unknown	第一回夏羽 The 1st summer	本報告

## 謝 辞

橋本有加里氏には足羽三山における鳥類の観察記録をご教示いただいた。標識放鳥・回収データの利用については山階鳥類研究所より許可を取得済みである(許可番号:山階保全第491号)。福井市自然史博物館学芸員の立松和晃氏には餌動物について示唆をいただいた。ここに記して御礼申し上げる。

## 引用文献

- 出口翔大, 2021, 足羽三山トリベディア 孤立丘陵 足羽三山の鳥類目録～足羽山総合調査 鳥類資料編～. 福井市自然史博物館, 35p.
- 福井県自然環境保全調査研究会編, 1998, 福井の鳥とけものたち. 福井県, 222p.
- 平野賢次編, 2012, 石川野鳥年鑑2011. 日本野鳥の会石川県, 99p.
- 平野賢次編, 2022, 石川野鳥年鑑2018. 日本野鳥の会石川県, 107p.
- 星野由美子・市橋直規, 2020, 三瓶山におけるカラアカハラの確認記録. 鳥根県立三瓶自然館研究報告, 18: 79-81.
- 市橋直規・米田重玄・山崎智子, 2018, 美保関における渡り鳥長期調査報告. ホシザキグリーン財団研究報告, 21: 273-280.
- 永井真人・茂田良光, 2014, 鳥くんの比べて識別! 野鳥図鑑670. 文一総合出版, p399.
- 日本野鳥の会福井県, 2007, 日本野鳥の会福井県会報つぐみNo.183, 日本野鳥の会福井県, 11p
- 日本鳥学会, 2012, 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会, 438p.
- 真木広造・大西敏一・五百澤日丸, 2014, 決定版日本の野鳥650. 平凡社, 788p.
- 梅田美由紀・長田 勝・阪本周一・高島市郎・林 幸子, 1989, 歩いてみようー足羽山ー自然観察ガイドブック第1集, 福井市自然史博物館, 30p.

## Abstract

In late April 2022, we observed a single Grey-backed Thrush *Turdus hortulorum* in the western part of Mt. Asuwa, Fukui City, Fukui Prefecture, Japan, for two days. Based on morphological characteristics, this individual was presumed to be the first summer plumage. This individual came out to the roadway and engaged in foraging behavior. This report is the 6th records in Fukui Prefecture, and the first record in Mt. Asuwa in Fukui city, of the Grey-backed Thrush.

## Key Words

First summer, First record of Mt. Asuwa, Isolated hill